

視察ルポ

入札制度などを視察

《総務委員会》

総務委員会では、入札制度等の調査のため関東地区四市への行政視察を行った。

神奈川県座間市では、入札制度の改善を図り、談合を助長する現場説明会を廃止し設計書渡しに変更、最低制限価格制度・低入札価格調査制度の設置、一億五千万円以下の工事は、地元業者を最優先し、優良企業への優遇措置等大幅に変更。また、談合情報があった場合は、業者を入れかえ抽選の上再選定し、悪質な場合は公取委・警察への報告等厳正を期していた。

千葉県船橋市は、入札参加者を公募する「ダイレクト型一般競争入札制度」を導入し、入札書を郵送で受け付け、最低価格入札者から資格審査を行い、適格者を決定する方法で支出削減を実現した。

座間市と同様に行政が談合や不良工事業者に対し厳しく指導、また、地元業者育成を断言するなど

市側の入札業務に対する強い姿勢が印象的だった。

千葉県市川市では、男女平等基本条例制定について視察した。

この条例は、議員が中心となり各団体等より意見を取りまとめ、市民参加のもと条例を制定したことに大きな意義があり、情熱が条例制定を実現へと導いた。

神奈川県横須賀市は、長期展望を見据え「情報フロンティア都市」を実現するために平成八年より十五年計画で入札を初め様々な行政事務の電子化に取り組んでいる自治体であった。

この視察で、首長の改革への強い意志がすべての原点と感じた。知り得た情報を市当局と共有し、市政運営に反映させたい。



船橋市を視察する総務委員会

駐輪場整備事業などを視察

《建設委員会》

建設委員会では、九月二十九日から十月一日までの日程で、なるべく本市に似通った状況にある東京都稲城市、千葉県八千代市、埼玉県新座市の三市を選択し、行政視察を行いました。

稲城市では、現在進行中である連続立体交差事業を視察しました。

四・三キロメートル区間を鉄道を高架化することにより、十五カ所の踏切道を解消し、地域内交通の改善を図る等の事業であります。高架下利用のアンケート調査を行うなど、市民参加型のまちづくりの取り組みには、見習うべき点がありました。

八千代市では、下水道事業について視察しました。地方公営企業が適応されていない団体である



稲城市の連続立体交差事業を視察する建設委員会

ため単純には比較できないものの、料金設定が低い分、本市より一般会計からの繰入金約四億八千万円多くなっており、運営の厳しさに対し、料金値上げに関しては苦慮されている状況でした。

しかし、処理能力にまだ八基余裕があることはうらやましい限りでした。

新座市では、駐輪場整備事業について視察しました。放置防止条例のもと、徹底した放置自転車の撤去の取り組みを行い、撤去に際しては職員も一緒にやり、苦情マニユアルを作成しての対応をしながら、その受け皿として駅周辺整備事業を通し大がかりな「有料地下自転車駐輪場」が整備されました。その結果、実際駅前の放置自転車はゼロという現状には驚かされました。

編集後記

今年の夏が遅くやってきたせいか、九月の初めというのに、どうしようもないくらいに暑い。

その暑いのを我慢して、ああでもない、こつでもないと言いつつ、皆様方にこの議会報を、喜んで読んでいただくよう気持ちを込めて編集作業に取り組んでおります。

これが出来上がり、皆様方のお手元に配布され、読んでいただく頃は、そろそろ冬支度を考える晩秋です。

読書の秋とも言われ、文字を読むのに最適な時期ではないかなと思つと、ついつい編集作業に力が入ります。

(ひろたか)

- 議会報編集特別委員会
- 委員長 長能文代
- 副委員長 谷成之
- 委員 松尾浩孝
- 委員 柴田英明

